

Ⅲ 保育の実施運営・体制全般に係る観 点

項目	内 容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
⑨ 組織としての基盤の整備（点）	園長は、地域の状況を把握するとともに、市の子ども・子育て支援の取り組みを理解し職員に伝えている。					
	園長自身が管理者としての専門性の向上に努めている。					
	園長は、教育・保育の様子を観察し、保育者と子どもの状況を共有している。					
	保育の理念・目標・方針及び職務分担等が定められており、それが共有されている。					
	職員それぞれの適正や経験を生かすことでチーム運営がなされている。					
	職員間同士が互いに支え合い、高め合っていく協働的な関係になっている。					
	職員の労働時間は守られており、また人間関係や忙しさ、仕事のやりがいなど、その管理が行き届いており、働きやすい環境となっている。					
	就業規則や各種マニュアルが職員に周知され、閲覧できる場所に保管されている。					
⑩ 社会的責任の遂行（点）	法令が順守されている。（職場内いじめ、セクハラやパワハラなどのハラスメント、長時間労働、残業代の未払い、不当解雇）					
	苦情解決マニュアルが整備されている。					
	地域社会に対して説明責任を十分果たすために法人のホームページに運営状況について情報を開示している。					
⑪ 健康及び安全管理（点）	子ども一人一人の生活リズムや体調を把握、考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている。					
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している。					
	子どもが寝ている時は必ず保育者が保育室にいる。					
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。					
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えるとともに、望ましい食習慣の大切さについて家庭に伝えている。					
	施設内外や園外保育先の安全状況を把握してから子どもを遊ばせている。					
	緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている					
	子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している。					
	年齢発達に合わせて、ぶくぶくうがいや正しい歯磨きの方法を指導している。					
	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる。					
⑫ 職員の資質向上（点）	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。					
	子どもの様子で気になることは（虐待疑いなど）、子どもセンター及び関係機関に相談している。					
	保育所保育指針を十分に理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる。					
	教育・保育実践を互いに見合う等、学び合いの基盤ができている。					
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている。					
	保育者の資質向上、保育内容の充実のために計画的に園内研修を実施している。					
⑬ 第三者評価、利用者アンケートに組み込み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている。	第三者評価、利用者アンケートに組み込み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている。					
	保育者等の自己評価結果に基づいた園長と職員の話し合いを実施している。					